

平成30年10月吉日

【セミナー事後レポート】インフォキュービック・ジャパン “あなたが世界の心を動かすために考えるべきこと” ー御社の社内資料をつくりましょうー

～B2B企業向けワークショップの大盛況を受け、早くも第4回開催決定！～

海外デジタルマーケティングの支援を行う株式会社インフォキュービック・ジャパン（本社：東京都新宿区：代表取締役山岸ロハン、以下インフォキュービック）は、平成30年10月18日（木）14:00より「【B2B企業向けワークショップ】あなたが世界の心を動かすために考えるべきことー御社の社内資料をつくりましょう）」を開催致しました。

B2B企業に特化したビジネスセミナーだったにもかかわらず、多くの参加者を集め、大盛況のうちに幕を閉じました。



今回のワークショップでは、B2B企業に向けて、海外向けコミュニケーション設計に必要な「ターゲット分析・カスタマージャーニーイメージ・ユーザー体験設計」などを演習形式で考える内容でした。講義を踏まえた演習パートでは、それぞれ自社をイメージして熱心に取り組まれる姿が印象的でした。

参加者の声として多かったのは「（ワークショップなので）ただ話を聞くだけではなく実際に自分も演習することで多くのヒントを得られた。」「同じような悩みを持つ人々と共感しあい、それぞれに即したアドバイスを聞くことができ、解決の糸口を見つげられたのがよかった」など、参加者それぞれに実りあるワークショップになったようです。

中には、「海外展示会運営へ興味！」であったり、「新しい評価基準を作成しよう！」といった、次のステップへ意欲をみせる方も多く、主催者としても嬉しい声をお寄せいただきました。

インフォキュービックでは、大好評で幕を閉じた今回のセミナーを受けて、2018年11月以降に第4回目の開催を決定しております。

実施概要

16社様限定【B2B企業向け無料ワークショップ】 あなたが世界の心を動かすために考えるべきこと ー御社の社内資料を作りましょうー

日時：2018年10月18日（木）14:00～17:00（開場13:30～）

場所：市ヶ谷健保会館・会議室（市ヶ谷） E会議室
〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町4-39

定員：16名限定（※参加費無料）12社12名参加

主催：株式会社インフォキュービック・ジャパン

講師：宇佐美 海太（株式会社インフォキュービック・ジャパン
グローバルブランディングチーム プロデューサー）

講師プロフィール
1985年生まれ。早稲田大学国際教養学部卒業。ポルトガル留学時、国境を越えたコミュニケーションの奇跡に感動。大手製造業にて多言語WEB映像プロデューサーとして各種PR動画を企画・プロデュース。現在、インフォキュービック・ジャパンにて多国籍クリエイター達と一緒に、日本と世界を繋ぐウェブサイト・WEB動画・コンテンツをプロデュースしながら、お客様のグローバル・コミュニケーション実現に心を燃やす。趣味はプロレス鑑賞。



宇佐美 海太

プログラム：

「あなたが世界の心を動かすために考えるべきこと ー御社の社内資料を作りましょうー」

B2B企業に向けて、海外向けコミュニケーション設計に必要な「ターゲット分析・カスタマージャーニーイメージ・ユーザー体験設計」を演習形式で考えるワークショップ

- ・ B2B多言語デジタルマーケティングを設計するために必要な3つのポイント
- ・ 御社の海外プロモーション計画に必要な情報の具体化
- ・ インフォキュービック・ジャパンのノウハウ共有

ほか

【株式会社インフォキュービック・ジャパンについて】

株式会社インフォキュービック・ジャパンは、お客様の海外デジタル戦略を中長期的にご支援するための最適な海外デジタルマーケティング戦略・施策をご提案。インハウスで10言語以上の言語対応が可能であるほか、各国により異なる「多言語デジタル広告」、世界的に影響力が高まる「多言語SNSマーケティング」、海外ターゲットユーザーの視点を起点にユーザー体験を最適化したサイト・動画といった「デジタルコンテンツ制作」という3つのソリューションを柱に、これまで500社以上の世界進出をご支援してきた多言語に特化したデジタルマーケティング会社です。

株式会社インフォキュービック・ジャパン

会社名：株式会社インフォキュービック・ジャパン(<https://www.infocubic.co.jp/>)

所在地：〒169-0072 東京都新宿区大久保1-1-7 高木ビル3F

設立：2007年1月

資本金：1000万円

代表者：代表取締役 山岸 ロハン

事業内容：

海外デジタルマーケティング総合支援：

海外向けデジタル広告運用、多言語ソーシャルメディアマーケティング、多言語ウェブサイト・動画制作

